

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆずりはplus(重心外)		
○保護者評価実施期間	2026年3月5日		～ 2026年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年3月5日		～ 2026年3月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	併設している保育園や他事業所との連携がすぐに行える。	都度、相談に乗れるようにしている。	日ごろから、コミュニケーションをとりつつ疑問点などはすぐに話ができるようにしておく。
2	他職種との話し合いが可能。	すぐに相談・話し合いが出来ない場合は支援の写真や動画を確認することで、助言しあえる。	電子記録にも内容を記録し、その場で相談できなかった職員も情報共有が出来るようにする。そうすることで均一なサービス提供が出来る。
3	お子様にあわせた支援が出来るように定期的に研修・訓練の機会がある。	勤務時間内に研修の時間を設けているため参加率が高い。 職員が学びたい内容のアンケートを実施、自らも講師になることで伝達するためにより深く学ぶことが出来る。	研修も含めて、学びたいことや知りたいことなどを提案できるシステムを作る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の保育所・幼稚園・こども園や発達支援センター等外部との連携が弱い	こちらから積極的に声掛けを行うことが出来ていない。	利用児さんが関係している機関にご挨拶・見学等を行いながら情報共有を行えるようにマニュアルを作成するなどシステム化を図る。
2	職員の意見を吸い上げる機会が少ない。	意見を吸い上げていると思っていたが、話し合いがまだまだ足りていなかった。	話し合いの機会をあらかじめ予定に組み込んでおく。
3	職員への全体周知が弱い	都度、電子記録に記録をしているが読んでいない職員も多い。	記録をあげるときは、声掛けとその内容に対しての話し合いを実施する。